

株式会社ヤママップと「遭難 ZERO 協定」を締結

8月11日(木・祝)、町は株式会社ヤママップ、三郡山系に隣接する市町、各消防本部、森林管理署と「遭難 ZERO 協定」を締結しました。

町は、およそ6割が豊かな森林に囲まれており、一本松公園を起点に変化に富んだ登山ルートがいくつもあります。一方で、山を楽しむあまり、地図や登山道のサインなどを見落とし、分岐などで正しいルートを見失う「道迷い」が発生し、転落や滑落につながるケースも見受けられます。道迷い遭難を防ぐためにはスマートフォンなどで山地図アプリを利用することが有効であることから、株式会社ヤママップが運営しているシステム「YAMAPトラッキングシステム」および「遭難者位置情報提供依頼フォーム」を利用できるよう、本協定を締結しました。



YAMAP公式ホームページ▶



▲協定書を持つ町長



自衛官募集相談員が委嘱されました

7月1日付けで、坂口孝臣さんと田中亨さんが自衛隊募集相談員に委嘱されました。

自衛隊募集相談員は、我が国の安全保障や自衛隊の活動などに関心を持ち、地域の実情に精通した信望のある人に、自衛官の募集に対しての協力をお願いしている制度です。

委嘱式では、福岡地方協力本部長と町長の連名で、坂口さんと田中さんに委嘱状が渡され、自衛官募集に協力をお願いしました。



▲代表して委嘱状を受け取った田中さん(左から3人目)

大将が決めた!インターハイ相撲で優勝!

第100回全国高等学校相撲選手権大会(全国高等学校総合体育大会相撲競技)の最終日が7月28日(木)に高知県立県民体育館で行われ、宇美町(宇美小・宇美中)出身の松井奏風人(まつい かなと)さん(鳥取城北高校 相撲部3年)が、団体戦に大将として出場し、見事優勝を果たしました。

決勝戦の相手は、決勝トーナメント1回戦から準決勝までの4試合をすべて5-0で勝ち上がってきた強豪校の埼玉栄高校。先鋒、二陣、中堅、副将の時点で、2-2となり、手に汗握る接戦。勝敗を決める大将戦を務めたのは、松井奏風人さんでした。

「とにかく前に出ることを意識しました」と松井さんが、立ち合いから低く鋭く踏み込んで、下から押し、一気に前に出て押し倒し勝負を決めました!

個人戦の雪辱を果たし、鳥取城北高校の2連覇を決めた松井さんは「任せるという感じで、立ち合いは完璧でした」と、プレッシャーのかかる場面での最高の相撲を振り返りました。

また、8月19日(金)に町長に優勝報告を行い、町長から「育ててくれた親への感謝の気持ちを忘れず、これからも自分の夢に向かって努力を続けてください」と激励の言葉がありました。



▲決まり手は「押し倒し」



▲優勝を決めた松井さんを
胸上げる鳥取城北高校
相撲部



▲町長に優勝を報告しました

人権啓発座談会を開催しました

9月1日(木)、町立中学校の代表生徒8人と宇美町人権擁護委員、法務局職員による「人権啓発座談会」が開催されました。「多様な性のありかたと人権～誰もが自分らしく輝けるまちにするために～」というテーマで、参加者はLGBTやSOGIについて学んだり、差別を受けた当事者の気持ちを考えたりしました。また、誰もが自分らしく暮らせる町にするために、自分には何ができるかなど、活発に意見を交換していました。参加した中学生は、「座談会をとおして色々な方と話すことで理解が深められた」「知識不足が差別や偏見の原因だと思うので、多くの人と知識を共有し、誰もが不安なく自分らしく生きられる町になったら良いなと感じた」と話していました。



▲座談会の様子



▲座談会の参加者